

久屋という街を舞台に、 すべてを「つなぐ」4日間



HISAYA GURUTTO ART
久屋
ぐるっと
アート
2019
11/1 FRI - 2 SAT - 3 SUN - 4 MON

新しいもの、古くから愛されているもの、あまり知られてはいないけれど面白いもの、ふとした景色、見たことのない風景、普段から慣れ親しんでいること、まだ触れたことのないもの、集う人々、さまざまな世代、多彩な価値観。久屋という街を舞台に、すべてを「つなぐ」4日間。
栄をアートでつなぐことで街に賑わいをつくりたいという想いで栄北エリアの施設が連携して行うアートの祭典。4日間に亘り様々なイベントを開催いたします。



極東証券Presents

なごやウィメンズ・クラシック2019コンサート

2日目

11/2(土) 名古屋YWCA 2階 多目的ホール

定員：70名 (事前申込み制・先着順/空席がある場合のみ当日入場可)

開場 13:30
開演 14:00

愛知県出身で全国で広く活躍中の実力派若手4名が登場!

第1部

日本ジュニア管打コンクールなど国内トップクラスのコンクールで1位に輝く若手の注目株のオーボエ奏者、松本純奈さんと、国際コンクールで多くの入賞歴を誇るピアノ奏者、井川かなえさんによるデュオ。



松本純奈
(オーボエ)



井川かなえ
(ピアノ)

第2部

幼少期より名立たる国内コンクールで入賞し、日本学生コンクールで2位に輝くなど、有望なチェロ奏者、下島万乃さんと、オリジナルCDや楽譜出版など既に作曲家のプロとして幅広く活躍される作曲家/ピアニスト河田理奈さんによるデュオをお楽しみいただけます。



下島万乃
(チェロ)



河田理奈
(ピアノ/作曲)



ご不明な点は、極東証券名古屋支店
または、なごやウィメンズ・クラシック事務局 (中村)

052-959-1571 (代表)
nwc2019@yahoo.co.jp



松本純奈（オーボエ）

愛知県蒲郡市出身。12歳よりオーボエをはじめ。
 第25回管楽器個人・重奏コンテスト個人の部本大会優秀賞。
 第25回日本クラシック音楽コンクール全国大会オーボエ部門高校生の部第3位（最高位）。
 第18回日本ジュニア管打楽器コンクール本選考会ソロ部門オーボエの部高校生コース第1位。
 第8回岐阜国際音楽祭コンクール専門コース管楽器部門高校第1位及び文化人特別賞。
 明和高等学校サマーコンサート、オーボエフェスティバル2017、プラットフォームコンサート等に出演。



井川かなえ（ピアノ）

第10回横浜国際音楽コンクール第2位（最高位）、
 第18回日本演奏家コンクール第3位・協会賞、
 第9回ジュラ・キシユ国際ピアノコンクール第2位、
 第12回バーテン音楽コンクール第1位。
 大森聖子、佐野翠、新井博江の各氏に師事。
 名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、現在桐朋学園大学3年在学中。



下島万乃（チェロ）

1998年、愛知県名古屋市生まれ。3歳よりチェロを始める。
 第10回MBK音楽コンテスト最優秀賞（全部門中1位）、第12回大阪国際音楽コンクールIIIコンチェルトコース第1位、第4回徳島音楽コンクール弦楽器部門グランプリ、第14回日本演奏家コンクール弦楽器中学生部門第2位および協会賞、鎌倉市教育委員会賞、第22回日本クラシック音楽コンクール弦楽器中学生部門第1位（グランプリ）、第15回泉の森ジュニアチェロコンクール高校生以上の部銀賞、第72回全日本学生音楽コンクール東京大会チェロ部門大学の部第2位、第26回名古屋演奏家育成塾にて聴衆賞、奨励賞、および名古屋市文化振興事業団賞を受賞、受賞記念リサイタルでは好評を博す。
 アンサンブル神戸、尾高忠明氏指揮豊田市ジュニアオーケストラと共演。
 日本室内楽アカデミー主催「音楽の玉手箱」、「目で聴く耳で観る即興コンサート」、「藝大定期 室内楽 第45回」など様々な演奏会に出演。
 これまでにチェロを故星野明道、酒泉啓、林俊昭、中木健二、山崎伸子、花崎薫、室内楽を玉井葉採、中木健二、山田百子、津田裕也、松原勝也、伊藤恵、江口玲、入江一雄、山本美樹子、即興演奏を平野公崇の各氏に師事。原田禎夫、フィリップ・ミュレル、マルク・コッペイ、アルト・ノラスの各氏のマスタークラス、公開レッスンを受講。
 金城学院中学、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学4年在学中。
 2019年度山田貞夫音楽財団奨学生。



河田理奈（ピアノ／作曲）

愛知県名古屋市出身。6歳より作曲を始める。
 ヤマハ・ジュニアオリジナルコンサート及びシティコンサート等に数多く出演。愛知県立旭丘高等学校を経て東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。
 東京国際芸術協会主催・TIAA第14回全日本作曲家コンクール・室内楽部門最高位（第3位）受賞。第18回同部門奨励賞受賞。自作曲によるオリジナルCD『Sense of Wonder (2015)』『May Breeze (2018)』をリリース。「今の時代に合った、新しい音楽を届けたい」という思いのもと、自作自演のスタイルで演奏会を企画・開催する傍ら、様々なアーティストや合唱団への楽曲提供、編曲も積極的にこなす。CD『アンサンブルコンテストセレクション2012 <金管アンサンブル>』（ウィズスコアより発売）、「光あるうちに～鈴木信夫の詩による歌曲集～」等に作品収録。「Catch the Spirit」「Piano Trio」等の楽譜出版も行う。
 これまでに作曲を、川井學、野平一郎、土田英介、西村朗の各氏に、ピアノを中尾純、佐藤俊の両氏に師事。現在、東京と名古屋を中心に、作曲・編曲・演奏・伴奏などの活動を展開する傍ら、後進の育成にもあたっている。

中村ゆかり(プロデューサー)



愛知県生まれ。愛知と京都で博士課程まで音楽を学ぶ。愛知県立芸術大学や、愛知県立大学、愛知大学、椋山女学園大学等の教育機関、またNHKカルチャー等生涯教育施設等で教鞭を執る。音楽評論家として、愛知県芸術劇場、名古屋フィルハーモニーや中部フィルハーモニー、またベルリン・フィルの演奏家など、海外アーティストの公演のプログラムや、朝日新聞等で公演評の執筆。愛知県芸術劇場、宗次ホール、びわ湖ホール等で公演を制作したほか、愛知県美術館、メナード美術館、ヤマザキマザック美術館等の美術館や、名古屋水族館やオアシス21など屋外施設でも公演を開催し、直近5年間では200公演以上の音楽公演を手掛ける音楽プロデューサー。また東海テレビ放送、しらかわホール・プレミアタイムなど、公演監修等活動も行う。

2016年～活動の拠点を欧州にも構え、毎月のように名古屋とを行き来しながら、現在は日本での活動と共に、欧州のコンサートホール、フェスティバルやコンクール等に携わっている